

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月25日

前橋市長 殿

提出者

住 所 群馬県前橋市元総社町1-1-7

氏 名 佐田建設株式会社

代表取締役社長 星野 克行

電話番号 027-251-1551

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	佐田建設株式会社 (前橋市内各工事作業所)
事業場の所在地	群馬県前橋市内
計画期間	令和7年 4月 1日 から 令和8年 3月31日 まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	
③従業員数	
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙フロー

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

*別紙管理組織図参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 6年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ	紙くず	木くず	
	排 出 量	8.944 t	99.225 t	25.77 t	2623.135 t	
	(これまでに実施した取組) 1・分別解体と分別処理 2・再資源化中間処理業者への委託 3・再資源化と適正処理の社員教育と情報提供 4・協力業者への協力要請 6・電子マニフェスト利用					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ	紙くず	木くず	
	排 出 量	5 t	80 t	20 t	2,000 t	
	(今後実施する予定の取組) 1・分別解体と分別処理 2・再資源化優良認定中間処理業者への委託 3・再資源化と適正処理の社員教育と情報提供 4・協力業者への協力要請 6・電子マニフェスト利用率アップ					

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・各作業所に分別用のコンテナを設置し、分別が可能なものは完全分別に努めている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現状を維持し、分別の徹底を図る。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

*別紙管理組織図参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 6年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器 コンクリート くず	がれき類	建設混合廃 棄物
	排 出 量	0 t	130.796 t	178.914 t	1183.108 t	279.234 t
	(これまでに実施した取組)					
	1・分別解体と分別処理 2・再資源化中間処理業者への委託 3・再資源化と適正処理の社員教育と情報提供 4・協力業者への協力要請 6・電子マニフェスト利用					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器 コンクリート くず	がれき類	建設混合廃 棄物
	排 出 量	0 t	100 t	170 t	900 t	200 t
	(今後実施する予定の取組)					
	1・分別解体と分別処理 2・再資源化優良認定中間処理業者への委託 3・再資源化と適正処理の社員教育と情報提供 4・協力業者への協力要請 6・電子マニフェスト利用率アップ					

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・各作業所に分別用のコンテナを設置し、分別が可能なものは完全分別に努めている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現状を維持し、分別の徹底を図る。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 6年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 6年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ	紙くず	木くず	
	全処理委託量	8.944 t	99.225t	25.77t	2623.135t	
	優良認定処理業者への処理委託量	0t	46.18t	23.82t	81.12t	
	再生利用業者への処理委託量	8.944t	99.225t	25.77t	2623.135t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	
	(これまでに実施した取組)					
	脱水（汚泥） 分別処理 優良認定中間処理業者の選定 再生処理委託を行なう中間処理業者の選定 熱回収処理委託を行なう中間処理業者の選定					

② 計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ	紙くず	木くず	
	全 処 理 委 託 量	5 t	80 t	20 t	2000 t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	50 t	20 t	200 t	
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	5 t	80 t	20 t	2000 t	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t	0 t	0 t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t	0 t	0 t	
	(今後実施する予定の取組) 脱水 (汚泥) 分別処理 (有価物として扱えるものは有価物として扱う) 優良認定中間処理業者の選定 再生処理委託を行なう中間処理業者の選定 熱回収処理委託を行なう中間処理業者の選定					
※事務処 理欄						

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 6年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 6年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器 コンクリートくず	がれき類	建設混合廃棄物
	全処理委託量	0 t	130.796 t	178.914 t	1183.108 t	279.234 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	23.617 t	40.29 t	384.696 t	56.108 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	130.796 t	178.914 t	1183.108 t	279.234 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)					
	分別処理 再生処理委託を行なう中間処理業者の選定 熱回収処理委託を行なう中間処理業者の選定 埋立処理（建設混合廃棄物）					

② 計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器 コンクリート くず	がれき類	建設混合廃 棄物
	全 処 理 委 託 量	0 t	100 t	170 t	900 t	200 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	20 t	70 t	400 t	100 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	100 t	170 t	900 t	200 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組) 分別処理 優良認定中間処理業者の選定 再生処理委託を行なう中間処理業者の選定 熱回収処理委託を行なう中間処理業者の選定 埋立処理 (建設混合廃棄物)						
※ 事務 処理欄						